

環境大臣より中央環境審議会に諮問された「自然公園の今後のあり方」にかかる、  
中央環境審議会における審議経過について

経過	審議、検討事項	内容
平成13年11月16日 諮問	自然公園の今後のあり方 について	「生物多様性国家戦略」の見直しを受けた全体的 見直し。 生物多様性保全を考慮して即応すべき事項。
平成13年12月10日 自然環境部会の開催 (環境省第1会議室17:00 ～18:00)	自然公園のあり方検討小 委員会の設置について 自然公園のあり方検討の 進め方について	辻井部会長より15名の委員を指名。 小委員長に渡辺委員を指名。 今後の日程及び法律改正を視野にいれて緊急に 措置すべき事項について中間答申とする旨了解。
平成13年12月18日 第1回自然公園のあり方 検討小委員会の開催 (東条インペリアル「曙の 間」15:00～17:00)	自然公園において緊急に 対処すべき課題と対策に ついて	自然公園において現に進行している問題等の概 観。 緊急に検討すべき事項の絞り込み ・風景保護に加えて生物多様性保全等保護機能 の強化 ・適正利用のための方策(利用制限など)及び自 然公園施設のあり方 ・パートナーシップの確立による公園管理の充実 自然公園法改正事項の検討 ・利用調整地区制度 ・風景地保護協定制度 ・公園管理団体の指定制度 ・特別地域等における規制項目の追加
平成14年1月16日 第2回自然公園のあり方 検討小委員会の開催 (環境省第1会議室13:00 ～17:00)	有識者からのヒアリング          中間答申案骨子について	石井実氏(大阪府立大学大学院教授:応用昆虫 学) 「国立・国定公園における蝶類の生息状況と保護 対策について」 加藤峰夫氏(横浜国立大学教授:環境法) 「米国国立公園のバックカントリー利用の状況と日 本の国立公園制度への提言」 午来昌(斜里町長) 「知床国立公園の今後のあり方」 吉田正人(財団法人日本自然保護協会常務理 事) 「里山など身近な自然の保全にかかるNGOの役 割と課題」  委員の意見を踏まえ、小委員長と事務局において 中間答申案を作成し、次回小委員会までに再度 意見を集約する旨了解。 (主な意見) ・環境教育、情報収集体制等重要な課題を緊急 事項の前段に明記すべき。
平成14年1月29日 第3回自然公園のあり方 検討小委員会の開催 (KKR東京「孔雀」の間 10:00～12:00)	中間答申案について	
平成14年1月29日 自然環境部会の開催 (KKR東京「孔雀」の間 13:30～15:00)	中間答申案について	